

2024年12月吉日

株式会社シード・プランニング

教育 DX と教育デバイス・ソリューションの実態を調査  
教育用コンピュータ総台数は 2019 年度 373 万台から 2024 年度 1750 万台に  
～教育委員会（小中高校）と教育 DX デバイス/ソリューションの動向～

2025年 教育DXと教育デバイス・ソリューション  
の最新動向

～教育委員会（小中高校）と教育DXデバイス/ソリューションの動向～



株式会社シード・プランニング（本社：東京都文京区 梅田佳夫社長、以下シード・プランニング）は、全国の小中高校の教育委員会、関係する教育 DX デバイス、教育用インフラ、教育用ソリューションのメーカーを取材し、教育 DX の参入動向を整理・その実態を調査し、その結果を発表したことをお知らせいたします。

●調査の詳細はこちら

<https://www.seedplanning.co.jp/news/5839/>

#### ◆調査の背景と目的

2019年12月に文部科学省が打ち出した新しい教育スタイルとして注目されている GIGA（Global and Innovation Gateway for All）スクールは、児童生徒向けの1人1台学習者用端末と、高速大容量の通信ネットワークの一体的整備より始まり、2019年4月からは児童生徒用「デジタル教科書」が全国の学校の授業で使えるようになりました。また、2020年には新型コロナウイルスにより、学校教育が多大な影響を受けています。近年は電子黒板、教育用タブレット、デジタル教科書、教育用ソリューションを活用したデジタル教育が本格的に開始される中、シード・プランニングでは2020年より全国47都道府県の小中高校教育委員会へ教育 DX

に関するヒアリングを開始しました。

本調査では今後の教育 DX 業界の問題点・課題を整理することを目的とし、全国の小中高校の教育委員会、関係する教育 DX デバイス、教育用インフラ、教育用ソリューションのメーカーを取材し、教育 DX の参入動向を整理・実態を調査し、市場動向の分析を実施しております。

## ◆調査トピックス

- 教育委員会 125 件の取材結果を公表。
- 教育ソリューション（学習支援系、校務支援系、ICT 支援サービス）市場の実態と動向を発表
- 教育ソリューション企業 160 社の取扱いシステムやサービス名、市場動向を解説。
- 教育ソリューション企業の導入学校数上位 24 社を発表。
- 教育用コンピュータ総台数は 2019 年度 373 万台から 2024 年度 1750 万台に伸長。
- 学習支援系システムの市場は 2019 年度年 151 億円から 2024 年度 335 億円に伸長。
- 校務支援系システムの市場は 2019 年度年 26 億円から 2024 年度 47 億円に伸長。

## ◆教育 DX / 教育委員会の動向について

### ●教育委員会 125 件での導入 OS の種類と導入教育ソフトの上位メーカー

シード・プランニングでは 2010 年より教育 DX の実態調査を開始し、今回で 11 回目の発表となります。

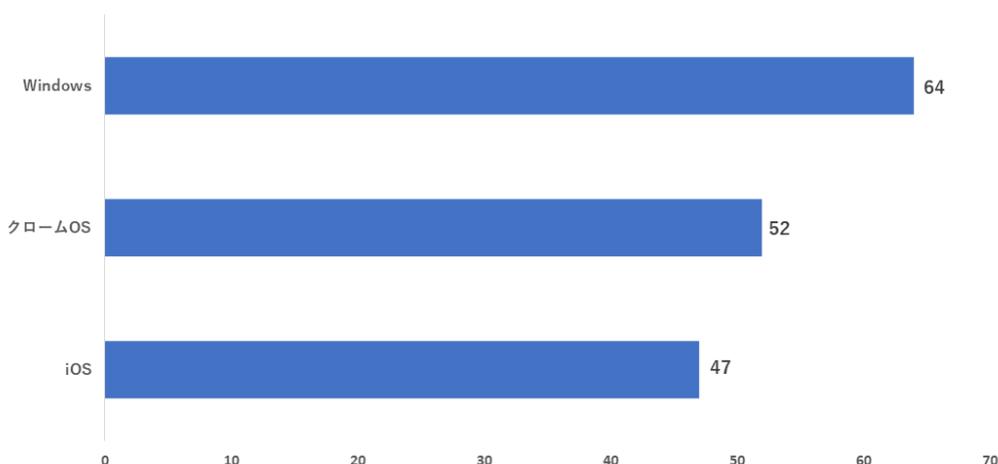
全国の都道府県の小・中・高等学校を管理する教育委員会への取材は 2020 年より開始し、現状の実態を調査・分析しています。

全国の教育委員会では、複数導入も見られるものの、Windows が 64 件、クローム OS が 52 件、iOS が 47 件という結果となりました。

また、導入教育ソフトの上位メーカー（学習系、校務支援系含む）はマイクロソフト、ロイロノート、グーグル、システム D、ベネッセ、EDUCOM、スズキ教育ソフト、スカイ、SATT が多く見られました。

## 2025年 教育DXと教育デバイス・ソリューションの最新動向

タブレットOS種類割合（件数）



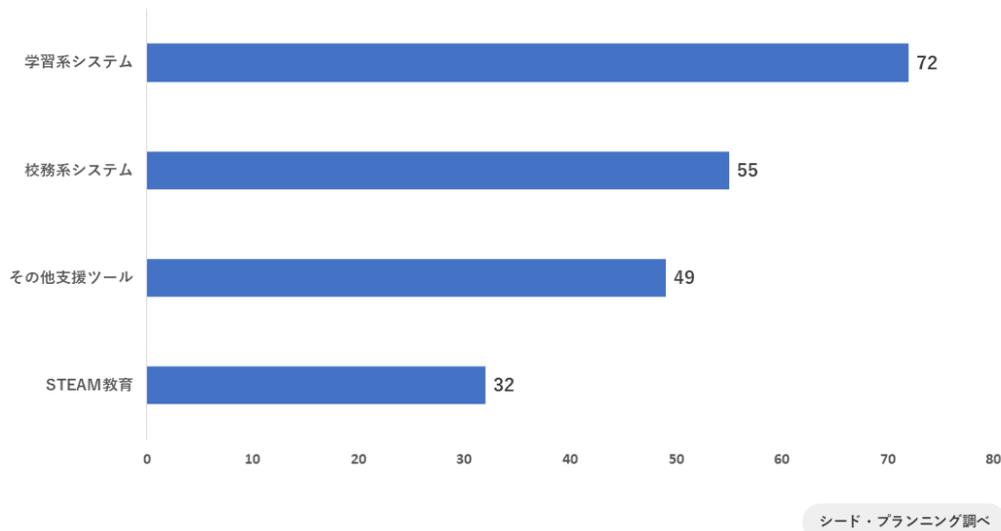
## ◆教育 DX / 教育ソリューション企業の動向について

### ●教育ソリューション企業の参入企業数

教育ソリューション企業 160 社においては、学習系システムを扱う企業が最も多く、参入企業数は 72 社、次いで校務系システムが 55 社、その他支援ツールが 49 社という結果となりました。

## 2025年 教育DXと教育デバイス・ソリューションの最新動向

教育ソリューション参入企業数（社）



### ●導入学校数上位のサービス名

本調査において教育ソリューション企業の導入学校数が最も多い（1万校以上）のウィンバード（ウィンバード）、まなびポケット（NTTコミュニケーションズ）、L-GATE(内田洋行)、ロイロノート（Loilo）、ミライシード（ベネッセコーポレーション）の5社でした。

## 2025年 教育DXと教育デバイス・ソリューションの最新動向

教育ソリューション企業の導入学校数上位

導入学校数	会社数	サービス名（会社名）
1万校以上	5社	ウィンバード（ウィンバード）、まなびポケット（NTTコミュニケーションズ）、L-GATE(内田洋行)、ロイロノート（Loilo）、ミライシード（ベネッセコーポレーション）
5,000校～1万校未満	4校	すぐる（バイザー）、マネージャーC4th（EDUCOM）、Canva for Education（Canva）、コラボノートEX（JR四国コミュニケーションウェア）
2,000校～5,000校未満	6校	あたまプラス（atama plus）、ライフイズテックレッスン（ライフイズテック）、情報I 全対応コース、情報I・AIドリル、双方向・JSコース（大日本印刷）、スタディサブリ（リクルート）、AI型教材「Qubena(キュービナ）」（COMPASS）、スクールタクト（コードタクト）
1,000校～2,000校未満	4社	採点ナビ入試採点サポート（教育ソフトウェア）、Pepper for Education（ソフトバンクロボティクス）、デジタル健康観察表「LEBER for School」（リーバー）、「フォーサイトアプリ」/「CodeCombat」（FCE）
500校～1,000校未満	5社	賢者クラウド（エスエイティーター）、校務支援システム「教助」（テクノコーポレーション）、Libry（Libry：リブリー）、情報モラル教材「DQ World」（サイバーフェリックス）、KEC Miriz（プロクラ）

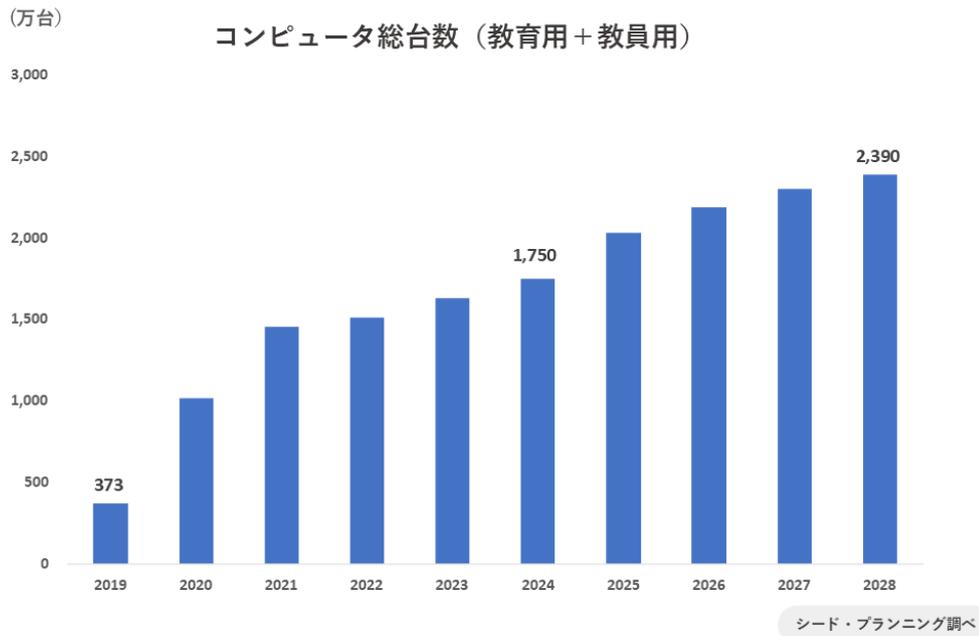
シード・プランニング調べ

## ◆教育 DX / 教育用コンピュータ・学習支援系システム・校務支援系システム市場規模について

### ●教育用コンピュータ総台数は 2028 年度 2390 万台の予測

教育用コンピュータ総台数（教育用+教員用）は 2019 年度 373 万台が 2024 年度 1750 万台に伸長、2028 年度 2390 万台になると予測しました。

#### 2025年 教育DXと教育デバイス・ソリューションの最新動向



### ●学習支援系システムは 2028 年度 430 億円へと予測

学習支援系システムの市場は 2019 年度 151 億円が 2024 年度 335 億円に伸長、2028 年度 430 億円になると予測しました。

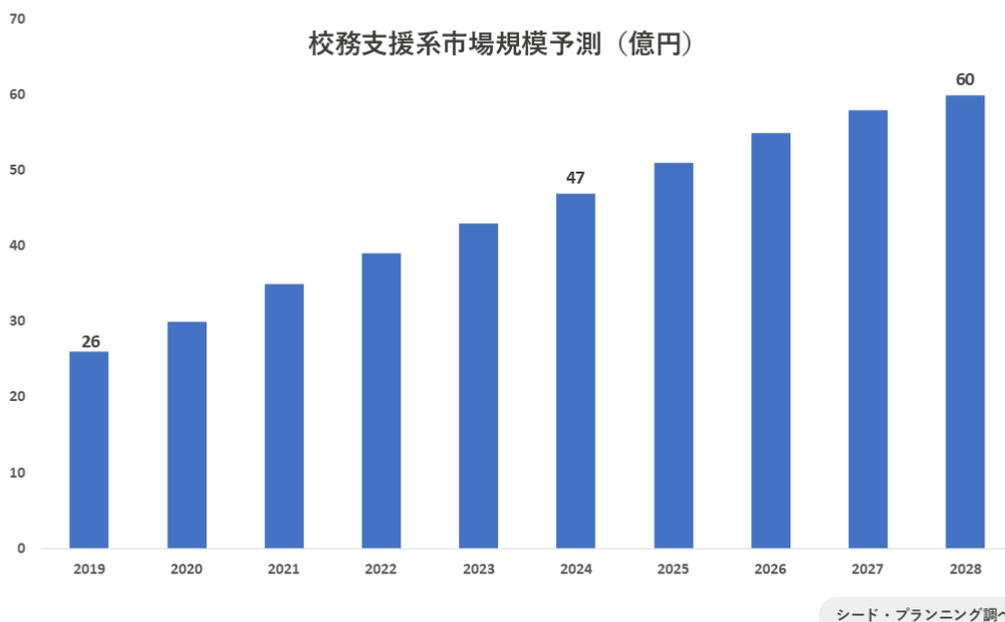
#### 2025年 教育DXと教育デバイス・ソリューションの最新動向



## ●校務支援系システムは 2028 年度 60 億円へと予測

校務支援系システムの市場は 2019 年度 26 億円が 2024 年度 47 億円に伸長、2028 年度 60 億円になると予測しました。

### 2025年 教育DXと教育デバイス・ソリューションの最新動向



## ◆調査概要

### 調査対象：

【掲載団体・企業】※文部科学省が発表する国公立の小中高校が対象。

47 都道府県の教育委員会（小学校、中学校、高等学校等の教育委員会の教育用デバイス、教育ソリューションの担当部署）125 件、教育 DX デバイス企業（大型提示装置、教育用パソコンメーカーの取り扱い企業）約 80 社、教育ソリューション企業（小学校、中学校、高等学校用の教育ソリューション取扱い企業）約 160 社

### 調査方法：

直接面接及び Web 会議取材、電話取材、オープンデータの収集、市場規模及びメーカーシェアは関連企業へのヒアリングにより作成

### 調査項目：

【対象品目】

教育用デバイス（大型提示装置、教育用パソコン等）、教育用ソリューション（学習支援系、校務支援系、STEAM 教育、等）、ICT 支援サービス

### 調査期間：

2024 年 6 月 20 日～2024 年 12 月 10 日

本調査の詳細はこちら：

<https://www.seedplanning.co.jp/news/5839/>

資料についてのお問い合わせ：

広報宣伝部

E-mail : [koho@seedplanning.co.jp](mailto:koho@seedplanning.co.jp)